

若者に気づきと刺激を

一般社団法人 知的人材連携センター IPAC

一般社団法人知的人材連携センター（IPAC: アイパック）は若者が様々な人との出会いを通して社会を知り、問題意識を持ち、生き生きと学びながら成長できる、そのような仕組みが現代社会に必要だと考えています。本趣旨に賛同する大学教員及び企業人、社会人の皆様とともに大学の授業への企業人ゲストスピーカーの登壇アレンジを行っています。

◆ 大学の授業への企業人ゲストスピーカー招へい活動（教育活動サポート）

大学の授業に企業人（技術者、経営者）を招へいすることで、学生は「自身が学んでいることが社会とどのようにつながるか？」がわかり、「さらにどのような能力を強化すべきか」を知るほか、様々な気づきと刺激を得ることができるようになります。

【活動により解決したい課題・問題点】

- ・大学…個々の教員が個人的な人脈で学外の人を招へいし、授業をコーディネートするには労力、人脈、資金の点で限界があります。大学教員が産業界と接点を持つチャンネルと頻度が少ない、という問題が存在します。
- ・企業…大学・学生と接点を作りたいがきっかけや方法がない、B to B 企業なので知名度がなく、学生にやりがいや自社を知ってもらえる機会を作りたい、大学の授業を担当した実績がなく、サポートなしでは授業担当という一歩を踏み出せない、という課題が存在します。

IPAC は教育活動サポートインフラを構築し、上記の問題を解消する仕組み作りを行っています。既に教授の方々や参画企業様から賛同を受けて、旧帝大をはじめとし、国公立大学、私立大学にて企業規模に関わらず、様々な企業の経営者や技術者による授業開催を行っています。

※講義担当者と IPAC メンバーはあくまで「サポーター」の位置づけであり、教員との調整と監督のもとで企業人がゲストスピーカーとして講義を行う授業作りに取り組んでいます。



◆ 教育活動サポート（企業人ゲストスピーカーによる授業）の様子



◆ 各種イベントの企画運営（ex. 異分野・異業種交流会）

IPAC は細分化された学問分野間の交流や産学交流を活性化させる交流会や勉強会を企画運営しています。例として「ビッグデータやデータサイエンスに関わる学生 / 研究者、企業の異分野異業種交流会」を東京大学山上会館にて開催。63 の学協会の共催、協賛を受け、約 150 名（半数は学生）の参加のもと交流を行いました。



◆ 各種パンフレットの作成およびセミナーの開催

大学が受託した文科省事業のパンフレットや博士後期課程進学促進に関わるパンフレットや企業 PR 資料の企画から、コンテンツ作成、制作までを一貫して行っています。これに関わるセミナーや企業内での企業若手向け研修も開催しています。